



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社エンバイオ・ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 6092 URL <http://enbio-holdings.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 実
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中村 賀一 TEL 03 (5297) 7155
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,929	307.7	445	961.8	407	-	251	-
29年3月期第1四半期	473	△9.2	41	-	14	-	10	-

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 242百万円 (-%) 29年3月期第1四半期 6百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	46.01	44.40
29年3月期第1四半期	1.88	1.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	12,892	2,704	21.0	494.95
29年3月期	12,281	2,607	20.0	450.34

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 2,701百万円 29年3月期 2,457百万円

(注) 平成30年3月期第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、平成29年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
30年3月期	-	-	-	-	-
30年3月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,548	41.2	672	157.9	555	443.6	379	-	69.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	5,457,200株	29年3月期	5,457,200株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	68株	29年3月期	68株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	5,457,132株	29年3月期1Q	5,431,513株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、業績の予想等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって緩やかな回復基調が続きました。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響などから、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの業績に大きな影響を及ぼす不動産市況は、ここ数年土地取引件数は僅かに増加傾向にあるなか、住宅建設は弱含みから横ばいに推移してまいりました。建設市場においては、公共投資が底堅さを増してきておりますが、建設技能者の不足による労務費の上昇や資機材価格の高騰など一部懸念材料を抱えた状況で推移してまいりました。

持分法適用会社を展開する中国では、昨年の土壤汚染対策行動計画(土十条)の公表以来、土壤汚染の法整備に向けた動きが進んでおり、景気は各種政策効果もあり、持ち直しの動きが見られております。

このような背景のもと、土壤汚染対策事業を中心にグループの総合力を活かして、ブラウンフィールド活用事業や自然エネルギー事業を積極的に展開いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,929,703千円(前年同四半期比307.7%増)となり、経常利益407,050千円(同2,756.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益251,077千円(同2,353.2%増)となりました。

以下に各セグメントの状況を報告いたします。

①土壤汚染対策事業

国内については、原位置浄化から掘削除去までのフルラインアップ化による商品力の強化、大手不動産会社との地歴調査の包括契約による情報収集力の強化、新規の原位置浄化技術である原位置熱脱着を核とした技術提案力の強化、グループ内連携の強化により新規顧客の開拓と新たな需要開拓に注力しました。

中国については、土十条の影響で営業情報は増えており、日系企業からの案件引き合いが増えましたが、損益改善の途中であり持分法投資損益として936千円の損失を計上しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は981,553千円(同182.3%増)となり、セグメント利益は5,155千円(前年同四半期はセグメント損失15,446千円)となりました。

②ブラウンフィールド活用事業

大手仲介業者、レイズ掲載業者等の物件を多く扱っている業者を優先した仕入活動を行った結果、地価が過熱気味で土壤汚染リスクを含んだ物件の取り合いも激しくなる中、仕入件数は4物件となりました。販売に関しては、浄化等が完了した2物件の販売を行いました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は767,610千円(同3,710.6%増)となり、セグメント利益は302,835千円(前年同四半期はセグメント損失3,223千円)となりました。

③自然エネルギー事業

新たに長野県伊那市、長野県茅野市(計2か所)の発電所を取得し、当第1四半期連結累計期間の末日現在、太陽光発電所は22か所、総発電容量15,759.04kWが稼働しております。また、建設中・計画中合わせて1発電所(石川県羽咋郡)合計総発電容量13,491.5kWが今後随時稼働する予定であります。

計画中の石川県羽咋郡の発電所は、平成30年3月期の着工、平成31年3月期の完成を予定しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は180,538千円(同71.1%増)となり、セグメント利益は80,652千円(同78.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては、総資産は12,892,270千円となり、前連結会計年度末に比べ610,343千円増加いたしました。これは主にたな御資産が775,388千円増加したものの、建物及び構築物が113,626千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、10,187,564千円と前連結会計年度末に比べ513,023千円増加いたしました。これは主に長期借入金が1,404,965千円増加したものの、短期借入金が250,365千円、1年内返済予定の長期借入金263,401千円、未払金及び未払費用が302,011千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、2,704,706千円と前連結会計年度末に比べ97,320千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が251,077千円増加したものの、非支配株主持分が146,110千円、繰延ヘッジ損益が12,439千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、連結業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,600,049	1,070,581
受取手形及び売掛金	1,212,857	982,568
たな卸資産	1,425,665	2,201,054
繰延税金資産	46,004	40,525
その他	574,516	864,915
貸倒引当金	△8,719	△3,263
流動資産合計	4,850,374	5,156,381
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	491,200	377,573
機械装置及び運搬具(純額)	3,269,432	4,537,528
土地	882,975	561,622
建設仮勘定	787,527	301,412
その他(純額)	4,530	2,866
有形固定資産合計	5,435,665	5,781,003
無形固定資産		
のれん	158,320	156,130
その他	492,744	492,452
無形固定資産合計	651,065	648,582
投資その他の資産	1,311,259	1,274,322
固定資産合計	7,397,990	7,703,908
繰延資産	33,561	31,979
資産合計	12,281,927	12,892,270
負債の部		
流動負債		
買掛金	860,498	773,915
未払金及び未払費用	371,591	69,580
短期借入金	942,365	692,000
1年内返済予定の長期借入金	1,048,557	785,156
未払法人税等	38,874	92,585
その他	195,015	139,138
流動負債合計	3,456,902	2,552,376
固定負債		
社債	371,500	357,500
長期借入金	5,270,134	6,675,100
退職給付に係る負債	12,286	12,014
資産除去債務	128,720	159,100
デリバティブ債務	162,449	177,463
その他	272,547	254,008
固定負債合計	6,217,638	7,635,187
負債合計	9,674,541	10,187,564

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	922,457	922,457
資本剰余金	994,604	998,041
利益剰余金	650,251	901,328
自己株式	△66	△66
株主資本合計	2,567,246	2,821,760
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	773	135
繰延ヘッジ損益	△120,693	△133,133
為替換算調整勘定	10,249	12,244
その他の包括利益累計額合計	△109,670	△120,754
新株予約権	905	905
非支配株主持分	148,905	2,794
純資産合計	2,607,385	2,704,706
負債純資産合計	12,281,927	12,892,270

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	473,366	1,929,703
売上原価	281,090	1,244,775
売上総利益	192,276	684,927
販売費及び一般管理費	150,364	239,906
営業利益	41,911	445,021
営業外収益		
受取利息及び配当金	106	1,301
その他	1,550	3,024
営業外収益合計	1,657	4,325
営業外費用		
支払利息	17,659	27,426
支払手数料	-	10,000
持分法による投資損失	8,347	936
その他	3,310	3,933
営業外費用合計	29,317	42,296
経常利益	14,252	407,050
特別損失		
減損損失	-	17,005
特別損失合計	-	17,005
税金等調整前四半期純利益	14,252	390,045
法人税、住民税及び事業税	6,236	133,249
法人税等調整額	△2,580	4,391
法人税等合計	3,655	137,641
四半期純利益	10,596	252,403
非支配株主に帰属する四半期純利益	361	1,326
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,234	251,077

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	10,596	252,403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△334	△1,115
繰延ヘッジ損益	6	△11,246
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,345	1,994
その他の包括利益合計	△3,674	△10,367
四半期包括利益	6,922	242,036
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,560	239,341
非支配株主に係る四半期包括利益	361	2,694

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	土壌汚染 対策事業	ブラウンフ ィールド 活用事業	自然エネルギ ー事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	347,678	20,144	105,543	473,366	-	473,366
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,670	-	-	12,670	△12,670	-
計	360,348	20,144	105,543	486,036	△12,670	473,366
セグメント利益又は損失(△)	△15,446	△3,223	45,153	26,482	△12,230	14,252

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去△116,504千円及び報告セグメントに帰属しない親会社に係る損益104,274千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	土壌汚染 対策事業	ブラウンフ ィールド 活用事業	自然エネルギ ー事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	981,553	767,610	180,538	1,929,703	-	1,929,703
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,000	-	-	8,000	△8,000	-
計	989,553	767,610	180,538	1,937,703	△8,000	1,929,703
セグメント利益	5,155	302,835	80,652	388,644	18,406	407,050

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△64,366千円及び報告セグメントに帰属しない親会社に係る損益82,772千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ブラウンフィールド活用事業」セグメントにおいて17,005千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。